

## 1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

2013年中の凶悪犯罪の国内総被害認知件数は、概ね前年比5パーセント前後増加すると推測され、特に住居侵入・強窃盗、恐喝、引ったくり等の認知件数が大幅に増加すると思われる。

爆弾事件に関し、2012年に一連の爆弾事件で無罪判決を受け、釈放されたチリ人アナーキスト2名が、スペインで同種事件を起こして逮捕された。

また、第9州（アラウカニア州）における先住民の土地回復運動が激しさを増し、覆面グループの破壊活動が集中していた地域での警察の取り締まりが強化された為、その周囲の集落・森林に被害が広がっている。

## 2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 10月18日（金）5時30分頃、サンティアゴ市サン・ホアキン区の路上において、4名の窃盗犯が盗難車両に乗車中、事故を起こして逃走し、臨場した警察官と銃撃戦になり、犯人1名が死亡した。

(2) 10月22日（火）3時30分頃、サンティアゴ市サンティアゴ区に所在の刑務所前地下通路において、バラバラ殺人・死体遺棄事件が発生した。被害者は若い女性と認められ、絞殺後、四肢及び頭部を分割の上、放火されたものと思料される。

(3) 10月27日（日）20時30分頃、サンティアゴ市マイプ区の路上において強盗殺人事件が発生した。28歳の女性が自転車で通行中の60歳男性を襲撃、ネックレスと財布を奪おうとしたが抵抗された為、所携のナイフを取り出して被害者を刺殺した。

(4) 10月31日（木）明け方、サンティアゴ市ラ・レイナ区においてタクシー強盗事件が発生した。強盗犯2名がサンティアゴ区からタクシーに乗車し、運転手が強盗目的と察したことからタクシーを停車させたところ、けん銃を取り出して運転手を脅したが、その後逃走。追跡中に発砲され、運転手が負傷した。駆け付けた警察官により、犯人1名が逮捕された。

(5) 10月31日（木）午前、サンティアゴ市ラ・フロリダ区に所在のスーパーにおいて現金等輸送車が襲撃された。警戒中の警備員が強盗犯にけん銃で発砲され負傷、犯人は逃走した。

(6) 11月2日（土）7時頃、サンティアゴ市ロ・プラド区に所在の地下鉄1号線ネプトゥノ駅においてATM機窃盗事件が発生した。複数の犯人が、同駅に設置されたATM機を爆破して現金を盗み、車両で逃走した。

(7) 11月7日（木）21時30分頃、サンティアゴ市サンティアゴ区に所在の銀行が襲撃された。4人組の覆面グループが行内に火炎瓶等を投げ込み放火した。現場には、過去に逮捕されたアナーキスト等に対して言及しているパ

ンフレットが発見された。

(8) 11月11日(月) 1時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区に所在の民家において3名の強盗犯が民家に侵入したが、家人に気付かれたことから、所携のけん銃で被害者の足に2発発砲し、盗難車で逃走した。途中で事故を起こし、更にタクシーで逃走したが、警察に発見され、22歳、18歳、17歳の強盗犯全員が逮捕された。

(9) 11月15日(金) 明け方、サンティアゴ市レコレタ区の繁華街において強盗殺人事件が発生した。繁華街の店舗内において口論になり、店外へ出たところで強盗犯6名が被害男性を撲殺し、財布を奪って逃走したが、この内2名が逮捕された。

(10) 11月29日(金) 14時頃、サンティアゴ市サンティアゴ区に所在の銀行において強盗事件が発生した。警備会社の現金等輸送車に約2億4,000万ペソの現金を積載中、カツラ等で変装した強盗犯がけん銃で警備員を脅して現金を奪い、タクシー及び走って逃走した。

(11) 12月11日(水) 10時頃、サンティアゴ市プダウエル区に所在の銀行において強盗事件が発生した。強盗犯3名が侵入し、銃を天井に向けて発砲しながら行員や客を脅したところ、同行に勤務する警備員が応戦し、銃撃戦となった。犯人1名が死亡、逃走した2名も後刻逮捕された。

(12) 12月26日(木) 未明、第6州(オヒギンス州)サン・フェルナンド市の民家において、強盗犯2名が侵入し、家人を婦女暴行の上、現金を奪って逃走したが、近隣の通報により駆け付けた警察官が逮捕、うち1名は未成年と判明した。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 11月6日(水) 未明、サンティアゴ市ラ・レイナ区に所在の銀行において爆弾事件が発生した。黒色火薬入りの消火器爆弾により爆破、建物に損害を与えたが負傷者は無し。

(2) 11月14日(木) 3時頃、サンティアゴ市エスタシオン・セントラル区に所在の銀行において爆破事件が発生した。複数名の犯人がプロパンガス入りのシリンダー6本をATM機に設置し、バルブ無いに燃料を注入し、絨毯を放火して爆破させた。

(3) 12月6日(金) 9時頃、サンティアゴ市サンティアゴ区に所在の銀行において爆弾事件が発生した。時限装置付きボタンガス入りシリンダー4本等がついた不発弾が発見されたことから、付近道路を封鎖、爆発物処理班が出動し、爆弾を排除した。

(4) 12月11日(水) 未明、サンティアゴ市プロビデンス区に所在の銀

行において爆弾事件が発生した。時限装置付き5キロの黒色火薬入りの消火器爆弾が爆発、出入り口、窓ガラス等が激しく損壊したが、人的被害は無し。

#### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 10月1日(火)未明、第8州(ビオビオ州)アラウコ市において、18歳の少年が、16歳の前交際相手を拉致し、自室に監禁の上、婦女暴行を企てようとしたが、助けを求める被害者の声を聞き付けた近隣が警察に通報したことで逮捕された。

(2) 10月上旬頃、第4州(コキンボ州)オバジェ市において、24歳の男性が母親と共謀して前交際相手の17歳の少女を拉致し、自室に4日間監禁した。被害者のメッセージにより発覚、警察が捜索し保護、誘拐犯を逮捕した。

(3) 12月4日(水)午後、サンティアゴ市ロ・プラド区において拉致事件が発生した。元交際相手がけん銃で女性を脅して車に乗車させ、道中で警察官及び一般市民を轢いて逃走したが、帰宅したところで逮捕された。轢かれた一般市民は重体、警察官は軽傷を負った。

#### 5 対日感情

特段の動向はないものの、引き続き我が国捕鯨調査、イルカ漁に対する抗議行動を受ける可能性が十分にある。

#### 6 邦人被害

(1) 10月10日(水)9時頃、第2州(アントファガスタ州)アントファガスタ市のホテルにおいて邦人出張者がチェックアウトをした際、後方のソファに置いていたパソコン、現金等在中の鞆を盗まれた。

(2) 11月9日(土)昼間、サンティアゴ市サンティアゴ区の地下鉄内で、邦人出張者が現金等在中の財布をスリ盗られたが、その場で気付き二人組の犯人の内一人を確保、その後もう一人の犯人も逮捕された。

(3) 11月14日(木)20時頃、第2州(アントファガスタ州)カラマ市に所在のバスターミナルにおいて、邦人旅行者が何者かに白い液体を肩に掛けられた直後、親切を装った中年女性2名が近付き、旅行者が抱えていた荷物を下ろし、当該液体を拭いていたところ、別の若者男性が近付き、「木に何かある」と言って注意を逸らされた間、旅券、パソコン等在中の当該荷物を盗まれた。

(4) 11月15日(金)23時頃、サンティアゴ市プダウエル区に所在のサンティアゴ国際空港付近路上において、在留邦人が詐欺盗の被害に遭った。被害の直前まで空港の駐車場に車を駐車していたが、駐車場を出て間もなくタ

イヤがパンクしていることに気付き、高速の路肩でタイヤ交換をしていたところ、後方から車が停車、ペルー人を名乗る男が近付き、「自分の車も故障しているので、緊急（エマージェンシー）の電話を教えて欲しい」等と言われ、その相手をしている間、後部座席に置いていた旅券、現金等在中のバッグを盗まれた。

（５）１２月５日（木）１８時３０分頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区を走行中のバス内で在留邦人が携帯電話を操作した後、手提げ鞆に入れてバス停で降車しようとしたところ、当該携帯電話をスリ盗られた。

（６）１２月６日（金）午後、第１州（タラパカ州）イキケ市に所在のスーパーにおいて邦人出張者が買い物中、駐車場に駐車していた車両が車上荒らし被害に遭い、旅券、カード類等在中の鞆を盗まれた。

（７）１２月７日（土）１５時頃、サンティアゴ市サンティアゴ区の地下鉄内において在留邦人が移動中、ズボンのポケットに入れていた現金、カード等在中の財布をスリ盗られた。

（８）１２月１０日（火）１３時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区を走行中のバス内において在留邦人が移動中、ショルダーバッグに入れていた財布をスリ盗られた。

（９）１２月１０日（火）１３時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区に所在のカフェにおいて在留邦人が知人と飲食中、背もたれの後ろに置いていた財布、携帯電話等在中の鞆を置き引きされた。

（１０）１２月１１日（水）午後、サンティアゴ市サンティアゴ区の地下鉄内において在留邦人が移動中、ズボンの前ポケットに入れていた現金、カード類等在中の財布をスリ盗られた。

（１１）１２月２１日（土）１８時頃、サンティアゴ市プロビデンスシア区の地下鉄内において在留邦人が移動中、ズボンの前ポケットに入れていた現金、カード類等在中の財布をスリ盗られた。